

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
「化学基礎」	高等学校新化学基礎（第一学習社） 化学基礎問題集（愛媛県高等学校教育研究会理科部会化学部門）	2単位	繊維科・第1学年

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
---------	--

### 2 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査
1 学期	序章 化学と人間生活 第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 第2節 化学結合	4	・化学と人間生活とのかかわりについて関心を高め、化学を学習する意義を確認する。	中間
		5		
		6	・原子・分子・イオン等の概念を理解し、様々な化学結合と物質の成り立ちを理解する。	期末
		7		
2 学期	第2章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸・塩基とその反応	8	・相対質量を基本とする量的な概念を理解し、化学変化を化学反応式で記述できる能力を身に付ける。	中間
		9		
		10	・物質の性質の違いを観察・実験を通して学習し、定量的な実験及び分析の能力を養う。	期末
		11		
		12		
3 学期	第3節 酸化還元反応 終章 化学が拓く世界	1	・酸化・還元の定義を理解し、金属の精錬や電池の原理等との関連を学習し、人間生活の中での役割について認識する。	学年末
		2		
		3		

### 3 評価規準及び評価方法

#### (1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

#### (2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業中に実施する小テストや定期考査等で総合的に評価する。	授業中に実施する小テストや定期考査等で総合的に評価する。	家庭学習等の記述内容や発表内容及び実験に取り組む姿勢や実験レポート等で総合的に評価する。

### 4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学薬品を使用する実験は、危険を伴うため、ゴーグル等を必ず着用して行います。実験時に事故が起きないように、説明を注意深く聞きましょう。</li> <li>・工業の専門科目との関連を認識しながら、化学的知識を正確に理解しましょう。</li> <li>・理解の難しい箇所を質問し、早めに解決をしましょう。復習を繰り返すことが大切です。</li> <li>・進路を踏まえた学習相談にも個別に応じます。</li> </ul>
--